

東海道新幹線新駅対策特別委員会会議録

令和5年6月12日

寒川町議会

出席委員 岸本委員長、山田副委員長
山上委員、佐藤（一）委員、小泉委員、橋本委員、横手委員、黒沢委員
天利議長

説明者 飯田まちづくり担当参事、鈴木倉見拠点づくり課長、川部副主幹、廣田主任主事
案 件

1. 新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等について
(都市建設部倉見拠点づくり課)
2. その他

午前9時00分 開会

【岸本委員長】 おはようございます。ただいまより東海道新幹線新駅対策特別委員会を開催いたします。

本日の案件は、次第のとおり、その他を含め2件になりますので、よろしく願いいたします。
それでは、執行部が入室するまで暫時休憩いたします。

【岸本委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

それでは、案件1、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についての説明を求めます。

飯田担当参事。

【飯田まちづくり担当参事】 皆さん、改めまして、おはようございます。当特別委員会の議事に入る前に、少しお時間をいただき、私から当委員会に対する執行部の体制について説明させていただきます。

私、まちづくり担当参事は、まちづくりを担う職として設置されており、都市整備課と倉見拠点づくり課を掌握しております。事務担当分担において部長と同等の事務の責任者となっていることから、当委員会を担当させていただきますので、よろしく願いいたします。

それでは、都市建設部倉見拠点づくり課よりご報告させていただきます。案件1、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見地区まちづくりの経過等についてでございます。

こちらは前回の特別委員会以降の経過について、鈴木倉見拠点づくり課長より説明をいたしますので、よろしく願いいたします。なお、質疑につきましては出席職員で対応いたします。

【岸本委員長】 鈴木課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 おはようございます。それでは、よろしく願いいたします。まず、3月の特別委員会以降、地元の方々へは、ニュースやまちづくり説明会などで情報提供するなど周知に努めるとともに、地元とのまちづくりの合意形成に向けた取組については、令和5年度に町が主体となって取り組んでいく内容や地元への提示方法について内部や関係者と検討してまいりました。

それでは、前回3月3日の特別委員会以降の経過等につきましてご報告させていただきます。経過に

つきましては、タブレット資料01の1ページ、新幹線新駅誘致とツインシティ倉見まちづくりの経過等についてに基づきご報告させていただきますので、よろしくお願いたします。

まず、3月6日に、まちづくりニュース第43号を地元関係者に向けて配布いたしました。議員の皆様にはタブレットを通じて配信済みですが、参考として2ページから3ページ、資料1となります。第43号では、3月の特別委員会でもご報告いたしましたが、昨年12月20日にJR東海品川ビルで第2回目となる倉見まちづくりに関するJR東海との技術相談を実施したことや、町長が期成同盟会の一員として1月にJR東海に要望活動を行ったことなど、新駅設置判断へ向けて着々と進んでいることを地元の皆様にお伝えするために作成したものでございます。後ほどご覧いただければと存じます。

続きまして、3月19日及び20日の2日間、倉見地域集会所でツインシティ倉見まちづくり説明会を開催いたしました。資料といたしまして、4ページに資料2として説明会の概要、5ページから14ページに当日の配付資料である過去のまちづくりニュースをおつけしております。

まず説明の前に、今回説明会を開催させていただきました趣旨としては、昨年6月、7月の説明会では、主に初めて参加される方向けに、これまでの取組経過や現状を中心にご説明してまいりました。今回いまだ新駅のまちづくりに関して周知不足の点もあることから、前回同様のご説明を基本とし、新駅設置に向けては、JR東海との技術相談を行ったことなど新幹線新駅設置までの想定スケジュールや今後皆様と取り組んでいくことについて改めてご説明させていただきたいと考え、今回実施したものです。

それでは、4ページの説明会の概要をご覧ください。面整備検討区域の約63ヘクタールに関係する関係権利者の方を対象に、3月19日日曜日は午後1時から、3月20日月曜日は午後7時から、両日共倉見地域集会所で開催しております。参加人数としては、3月19日は19名、3月20日は20名で延べ39名の方にご参加いただきました。

なお、今回の説明会には我々倉見拠点づくり課職員だけでなく、神奈川県から寒川駐在事務所ツインシティ整備推進センターの職員も同席しております。

説明内容として、県からは、ツインシティを取り巻く県央・湘南都市圏の概要について経緯や取組状況をご説明し、町からは、ツインシティ倉見地区まちづくりの取組状況について、新駅設置までのスケジュールや土地利用の考え方、技術相談の結果、JR東海からの要望回答についての町の捉え方について、今後のまちづくりの合意形成に向けた考え方について説明させていただきました。

なお、当時出席された方からは、まちづくりの考え方によるご質問や新駅ができることによるメリットを伝えるべきなどの町の取組姿勢について、平塚市側と町側の進捗状況の差についてのご意見など、多くのご質問をいただきました。こうした地元からのご意見をJRや県に上げていきながら、まちづくりの具現化に向けて進めてまいりたいと考えております。

今回都合により出席できなかった方々については、後ほど報告いたしますニュースでの周知とともに、今後も県との調整の機会を捉えて提案、説明の場が持てるように努めてまいります。当日の配付資料については、過去に配付したまちづくりニュースとなつてございますので、後ほどご覧いただければと存じます。

資料は1ページにお戻りいただければと思います。続きまして、3月26日には、東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくり連絡協議会の旭町内会の会員方とブロック協議会を北部文化福祉会館で行いまし

た。まずブロック協議会とは、東海道新幹線新駅誘致地区周辺まちづくりの検討を行うため、会員のまちづくりへの理解を深めていただき、各ブロックの課題等を共有し、まちづくりの検討ができる状況を整えることを目的に開催しているものでございます。当日は19名の方にご参加いただき、協議会での取組状況や新駅設置までのまちづくり取組スケジュールについてご説明させていただきました。参加された方からは、宮山線はできると考えていいのか、相模鉄道いずみ野線の延伸は地下を通して倉見に来る想定なのかなどのご質問をいただきました。今後とも情報提供の仕方などを工夫し、少しでも多くの方に対してまちづくりへの理解を深めていただけるよう取り組んでいきたいと考えております。

続きまして、3月27日には、地元連絡協議会の第3回となる幹事会が倉見地域集会所で開催されました。当日は、令和4年度事業報告及び決算報告を行い、承認されたほか、まちづくり説明会の報告や新駅設置までのスケジュールについて改めて事務局よりご説明し、意見交換を行いました。当日の幹事の方からのご意見としては、町はこの事業を進めていく強い意思表示をして地元を引っ張っていく気概でやってほしい、一人でも多くの方がそういった情報を得ていろいろと連携できるような機会をつくってもらいたいなど、町が今後話合いを進めていくに当たって心強いご意見をいただきました。今後も引き続き協議会の皆様と意見交換を進めてまいりたいと考えております。

続きまして、4月17日、県と平塚市、寒川町で構成されるツインシティ整備調整協議会が書面による会議で開催されました。寒川駐在事務所、ツインシティ整備推進センターの運営にかかる令和4年度事業報告及び決算報告並びに令和5年度の事業計画（案）・予算（案）等についての事前確認をいたしました。

続きまして、4月20日、神奈川県東海道新幹線新駅設置促進期成同盟会の幹事会が、かながわ労働プラザで開催されました。ここでは総会に向けて令和4年度事業報告及び決算報告並びに令和5年度の事業計画（案）・予算（案）等についての事前確認を行いました。

続きまして、4月24日には、地元連絡協議会の本年度第1回となります役員会が倉見地域集会所で開催されました。令和5年度事業計画（案）・予算（案）及び事務局である町の組織見直しによる連絡協議会会則の一部改正についてご審議いただきました。

続きまして、5月8日に、まちづくりニュース第44号を地元関係者に向け配布いたしました。議員の皆様にはタブレットを通じて配信済みですが、参考として15ページから16ページ、資料3となります。第44号では、まちづくり説明会でもご説明している新駅設置までの想定スケジュールや町が今年度以降取り組んでいくことについてお伝えしたものです。後ほどご覧いただければと存じます。

再度資料1ページにお戻りいただければと思います。続きまして、5月11日には、地元連絡協議会の本年度第1回幹事会が倉見地域集会所で開催されました。令和5年度事業計画（案）・予算（案）及び事務局である町の組織見直しによる連絡協議会会則の一部改正について了承されました。また、本年度町が取り組んでいくことなどについて意見交換を行い、幹事の方より宮山線の進捗などのご質問がありました。

記載された内容の報告については、以上となりますが、今後地元とのまちづくりの合意形成に向けた取組については、土地利用、都市施設、事業手法について地元と話し合っていくための内容等を神奈川県のご支援をいただきながら地元との意見交換を行えるよう努めてまいります。

ツインシティ倉見地区まちづくりの実現には多額の事業費がかかると想定しております。そのため事業性の確保を図るためにも、財源やエリア設定の考え方等については、引き続き関係機関との調整を重ね実現してまいりたいと考えております。

報告については、以上となります。よろしくお願いいたします。

【岸本委員長】 説明が終わりました。これより質疑に入ります。質疑はありますでしょうか。
横手委員。

【横手委員】 3月18日に東急と相鉄線の新横浜線というのができましたね。海老名から新横浜まで35分、売りは新幹線駅直通だということです。しかも、のぞみですよ。この影響というのは、検討というか、調査はしているんですかね。僕は実はこの間永田町から海老名まで乗ったんですけど、びっくりするぐらい1本で行けちゃうんだっていう驚きもあったんですけども、新横浜まで本当にちょっとなんですよね。ちょっとということじゃなく、35分って結構短くて、そうすると、いろんなところからいろいろほころびが出てくるような気がしてならなくて、食い止めなきゃいけないものもあるし、それから継ぎ足さなきゃいけないものもあると思うんですけども、その辺は何か考えていますか。

【岸本委員長】 鈴木課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 確かに海老名から新横浜まで40分弱で行けるようになったというのは、1つの大きなトピックであると捉えております。现阶段で、新横浜まで開通したことをもって倉见到どういう影響が出るかというところは、今後の課題であるとは認識しております。今後、まずはまちづくり担当課としましては、まちづくりの絵姿であったり、そういったものを地元の皆様と合意形成が図れるように努めながら、併せて、できた場合に今後経済効果であったり、そういったものも考えていかなければいけないねという話もしておりますので、そういった中で相鉄も含めていろいろなデータ等、そういうものを洗い出していければと考えております。

以上です。

【岸本委員長】 横手委員。

【横手委員】 最大のプライオリティはまちづくりというところに対して合意形成でいく、もちろん分かっています。それを分かった上で申し上げていて、2010年ぐらいに僕が日経新聞で読んだ記事では、当時の知事も含めやる気満々で、JRも動き出すみたいな感じだった、当然新横浜線が造られることも想定された。

ところが、いざこの状況になってみると、あれから13年たって、この状況になってみてよく分かったことは、結局、海老名がどんどん発展して行って、置いていかれている感がすごくあるんですね、倉見の新駅というものについて。まちづくりをしていく上で、あのエリア、倉見地区の方たちに納得はしてもらえない部分もあるだろうけども、それこそ理解を得ていく1つの材料として、あれはあれで、新横浜線は新横浜線でどう位置づけるか、我々はこういう位置づけなんですよ。だから新しい駅が欲しいんですという考え方も持っていないと、僕は理解すら得られない気がしてならないんですけども、その辺の、申し訳ないんですけど、ビジネスに関する、ビジネスというか、ちゃんとユーザーとかを考えたときの肌感覚みたいなものが違うというのももちろんあるんでしょうけど、僕はすごく不安に感じるんですが、反論があるなら反論していただいて構いませんので、ご意見をお聞かせいただけますか。

【岸本委員長】 鈴木課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 確かに委員ご指摘のところは、全くそのとおりであるとは思いますが。海老名は海老名で、あと倉見は倉見をその中でどう位置づけるかというところは、整理は必要になってくると思います。また大神から倉見大神線も今後整備されることになってくるかだと思います。そういったところも含めて、今県央・湘南都市圏ということで県でも位置づけておりますし、その中でもう一度倉見としてどうあるべきか、そういうところは整理を今後していきたいと考えております。

以上です。

【岸本委員長】 横手委員。

【横手委員】 早急にそれは何らかの形でつくり上げていく必要があって、何が必要かという、さっきから言っているのは、納得されなくてもいいから、理解を得るために発信していかなきゃいけないと思うんですね。こういうものだという理解を、本当に合意ってそういうものだと思っていて、納得イコール賛成だけど、賛成、反対は別として、言っていることは分かるという理解をちゃんと得られないと、本当に難しいと思っているので、それに必要なのは発信していくこと、だから誰もが理解のいく発信をするためにちゃんと様々な情報を用意しておくべきだと思って。今の課長のお話だと、すごく申し訳ないけども、先送りにされている感が、今聞いていて思ったんですね。それはどうなのかなと思います。そこはぜひ気をつけて、先へ先へ送るんじゃなくて、先を見越して情報取得して発信していくという方法を取っていくべきだと思いますけど、いかがですか。

【岸本委員長】 鈴木課長。

【鈴木倉見拠点づくり課長】 ご意見ありがとうございます。確かに先送りというつもりはございませんので、ご意見を踏まえた上で発信に適切に今後努めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

【岸本委員長】 他にございますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【岸本委員長】 それでは、これをもって質疑を終結いたします。ご苦労さまでした。
暫時休憩いたします。

【岸本委員長】 休憩を解いて会議を再開いたします。

続きまして、案件2、その他であります。委員の皆様から何かありますでしょうか。

(「なし」の声あり)

【岸本委員長】 それでは、私から1件、皆様にお伝えしたいことがありまして、当特別委員会でも1回、日帰りになりますけれども、視察に行きたいと思っております。時期や場所などは未定でございますけれども、9月以降年度内にどこかに行ければと思っておりますけれども、急な話なので、もし皆様方で視察先など日帰りのバスであると思うんですけども、ございましたら、私か副委員長にお示ししていただけるか、また我々でも幾つか視察訪問先を調べておりますので、またタイミングで皆さんにお示しして、候補地並びに場所、また内容なども議論できればと思っております。まちづくりが主体となるのか、駅周辺のJR東海との関係性のあるところであるかどうか、例えば倉見まちづくりに密接に関係のあ

る部署など幾つかの категорияに分けて皆さんにお示ししたいと思っていますので、その点はまたよろしくお願ひ申し上げます。

それでは、これで全ての案件が終了いたしました。最後に副委員長から一言お願ひいたします。

【山田副委員長】 これをもちまして、東海道新幹線新駅対策特別委員会を終了します。お疲れさまでした。

午前9時22分 閉会

寒川町議会委員会条例第27条の規定により、ここに署名する。

令和 5年 9月 27日

委員長 岸本 優